

平成 28 年度 一般社団法人りぷらす/スタジオぷらす
第 1 回 運営推進会議 会議録

1. 日時

平成 28 年 9 月 28 日(木) 15:00～16:00

2. 場所

スタジオぷらす 機能訓練室

3. 出席者

(1) 構成員

河北地域包括支援センター	畠中 ゑつ子様		
河北 五味地区 民生委員	山内 榮子様		
河北総合支所 保健福祉課	遠藤 照美保健師		
スタジオぷらすご利用者	今野 雄一郎様	ご利用者家族	阿部 市子様
	佐々木 せい子様		佐々木 豊次

郎様

馬場 利一郎

様

(2) スタジオぷらす職員

橋本 大吾(管理者)
小山 和良(機能訓練指導員)
畑山 亜由美(生活相談員)

4. 議事

(1) 開会の挨拶

(2) サービスの概要について

一般社団法人りぷらすについて
スタジオぷらすについて(デイサービス)
室内の構造や配置について

(3) 平成 28 年度の料金改定についてのご報告

(4) 緊急災害時の対応について

(5) その他 質疑応答など

(6) 閉会の挨拶

※(2)～(4)内容の詳細については、別紙参照のこと

5. 質疑応答、ご意見など

【ご意見として】

畠中様：河北地区に初のリハビリ特化型デイサービスが開設し、とても嬉しく思っ

ている。利用者数も周辺の事業所に比べ増えているようだ。おたからサポーターの活動も含め、今後の事業所の活動に期待している。

山内様：五味地区では、地域の住民さんが集まれる場所がない。そのため、あいあいぷらすのお茶っこ会は、住民さんの楽しみになっている。

デイサービスの活動も良いものだと様子感じており、住民さんも外から見ていく方もいる。デイサービスの場所、活動などをどのように地域の方に広めていけるか、いい方法を考えたい。

また、今日はこうして集まって地域のための話をする場であるだけに、行政に関わる方、行政区長さんがお休みなのは非常に残念である。

佐々木様(ご利用者)：横川地区の住民は、おたからサポーターの体操教室も始まり、自発

的に健康づくりについて考えるようになった。意識が高まったこと

は良かったと思っている。今回りぷらすの避難訓練では、一次避難

先へ避難しているが、二次避難先へ避難した方がより安全なのでは

ないか。

阿部様(ご家族)：三輪田は検診の後に集まって、自発指導を受けていた。

他の地区でも行われているのかどうか。

遠藤保健師：今でも健診後の自発指導は続いている。

馬場様(ご家族)：りぷらすに週2回、妻がお世話になっている。歯磨きがうまくできなか

ったり、飲み込みがうまくいかずに肺炎になったという妻の現状がある。

しかし、歯科の先生と連携して歯磨きの指導や口腔体操をしてくれたり

と、手厚く様々な事をしてもらえるので感謝している。

【避難訓練について】

馬場様(ご家族)：石巻市南浜町の介護施設「めだか」(利用者数60名)では、東日本の震

災前から、立地場所から考え津波の被害が怖いと、施設長は考えていた。

そのため月に1回は津波を想定した避難訓練を行っていた。震災当日は

避難が早く、施設の職員、利用者全員が助かった。避難訓練でのポイント

は、職員が役割分担(避難時、どの利用者を誰が対応するかまで

決め
る)をしっかりと行う、車の荷積みまで実施、避難ルートを把握でき
てい
るなどが挙げられる。また日頃から車を前向きに停めるなどルー
ルが習
慣化されていた。地域の方がボランティアとして関わっていたこ
とも非
常に大きなポイントである。りぷらすでも、地域の方とどのよう
に繋
がり、協力を得られるかを考えていくことが大切だと思う。

【質疑応答】

Q:山内様：現在スタジオぷらすに登録している利用者は、何人いるのか。

A:畑山：利用者数は54名います。他、障がい福祉サービスとして、基準該当2名、日中一時支援3名の方の登録があります。